


割りばしの一輪ざし



一輪ざしの材料

| | | |
|---------------------------|------|---|
| フィルムケース | 1 個 |  |
| つまようじ | 44 本 | |
| 竹串 | 5 本 |  |
| リボン 1.0cm 巾のもの 25cm 程度 | 1 本 | |
| リボン 1.0cm 巾のもの 14cm 程度 | 2 本 |  |
| ストロー | 4 本 | |

後ろの額の材料

| | | |
|------------------------------------|------|--|
| 割りばし | 20 膳 | |
| 和紙 (レースペーパー) 12.5cm 四方 | 1 枚 | |
| 結束用のワイヤー 20cm | 1 本 |  |
| 額の枠を引いた下敷きの紙 (A4 版) 飾り用の千代紙や葉など | | |

ボンド・はさみ

両面テープ（2cm幅の強力タイプ 30cm程度）

両面テープ（1cm幅のもの 30cm程度）

ビニルテープ〔医療用〕 30cm程度（写真右）



一輪ざしの作り方

- ① フィルムケースに2cm幅の両面テープをケースの上端と下端にぐるりと貼る。（写真1-1）つまようじと竹串を周囲に付ける。どちらもがった先端が下になるようにはる。（22本くらいはったところで、竹串2本をはり、さらに残りのつまようじをはる。竹串2本を最後にはる）（写真1-2）



写真1-1



写真1-2

- ② リボン（14cm）に、1cm幅の両面テープをはり、シールをはがして、①のつまようじの下部の先端を隠すようにはる。（写真1-3、1-4）もう1枚はつまようじの頭部のきざみの下端に端が当たるようにはる。どちらもリボンの



写真1-3・1-4

終わりが同じ位置にくるように（出来上がったとき、その位置を裏面にできるように）気を付けてはる。

- ③ ストロー4本を3等分にし、全部まとめて円柱状にする。フィルムケースに入れ、入ることを確認する。引き抜いて、円柱の中心部を輪ゴムでくくり、ストローの上下をビニルテープで止め、固定する。（片方のストローの端がきれいにそろうように整える）



写真1-5

* ストローを入れることで、剣山やオアシスの代わりに花を生けるときの固定ができる。

- ④ 束ねたストローをフィルムケースに入れる。
⑤ 残った竹串を約半分に切り、竹串2本の間に差し込み、取っ手の形にする。重なる位置にボンドで固定する。



写真1-6

額の作り方

- ⑥ 割りばし4本と割った割りばし2本分を用いて井の字に組む。（写真2-1）バランスを確認してから、順にボンドではり付けていく。



写真2-1

- * 井の字に組んだ下端に来る部分を4本とも割りばしをずれないようにはる。そうすることで、立てて使うことも可能になる。
* レースペーパーの表と裏を注意する。
* レースペーパーに千代紙や葉などの飾りを付ける場合、裏面になる部分の



写真2-2

割りばしをはってから位置を確認しながら行う。

- ⑦ はり付けたレースペーパーの上にも割りばしを井の字に乗せ、(中心側は割りばしを1本に割ってから配置する)位置を確認して、ボンドで留める。(写真2-2)
- ⑧ 外側の部分に割っていない割りばしを2本ずつ井の字に2回組み、はり付ける。
- ⑨ 乾くまで輪ゴムなどで固定する。待っている間に、生ける花を折り紙などで作ったり、自然の花を切ったりして用意する。
- ⑩ 一輪ざしを額に置いてみる。位置を確認し、ワイヤーを額の割りばし中央部に通し、一輪ざしをワイヤーで固定する。割りばしの額と一輪ざしの重なる部分にボンドを付け、固定する。
- ⑪ リボン(25cm)を額の上部に縛り、輪にして壁に掛けられるようにする。
- ⑫ 花、葉をうまく生けて出来上がり。(生の花は、先の細い容器で水を入れてから生ける)